

丸岡藩砲台(越前 梶台場)(国の史跡)(坂井市三国町梶)

丸岡藩砲台跡(まるおかはんほうだいあと)は、福井県坂井市三国町の梶にある砲台跡。梶台場(かじだいば)ともいう。国の史跡に指定されている。

概要

幕末の嘉永5年(1852年)、丸岡藩の砲術家栗原源左衛門によって作られた砲台の跡。ペリー率いるアメリカ艦隊が浦賀に来航する前年のことである。

丸岡藩では後に藩主・有馬道純自らが西洋流砲術家の江川太郎左衛門に入門している。また藩士も大野藩の学問所「洋学館」に砲術修業のため入学している。

建築概要

高さ1.8m、長さ33mの石垣でつくられた胸牆に5つの砲眼を設けている。

Wikipediaによる

